

# 包摂的コミュニティプラットフォームの構築

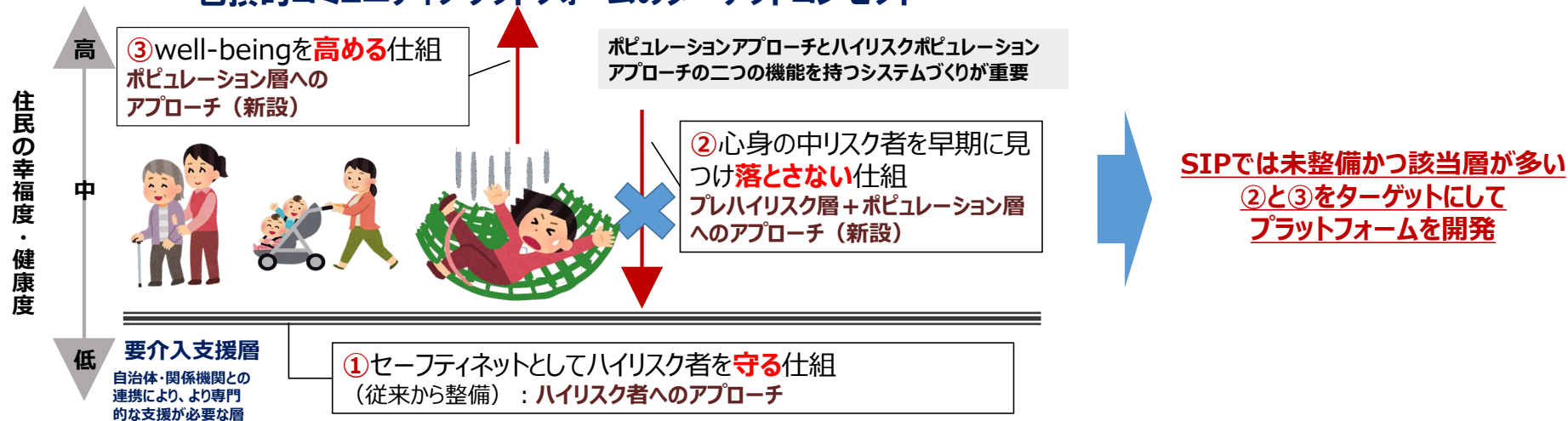
## ■ Society 5.0における将来像

多様な人々が社会的にも身体的・精神的にも豊かになれるコミュニティが全国に形成され、社会全体でwell-beingが最大化されている。

## ■ 課題概要

包摂的コミュニティの形成のために、住民や自治体、企業等が選択・採用できる事業・サービス群のプラットフォームを構築し提供する。

### 包摂的コミュニティプラットフォームのターゲットコンセプト



## ● ミッション

包摂的コミュニティを実現するために、寛容性・自律性が高められる科学技術を基盤とした社会技術が展開されるプラットフォームを開発し、社会実装する。

## ● 社会実装に向けた戦略

研究開発期間の2年目末までを目途に、主たる科学技術・社会技術の開発、各種事業モデルの検討、社会的受容性の向上に向けた施策の検討、人材の育成等を進めながら、できる限り1回目の実証が実施されており、3年目以降において2回目の実証を行い、これらの改善を行っていく。  
サブ課題ごとに、技術開発、事業、社会的受容性、人材それぞれにおいて、3年目の段階でレベル5(実証がスタートしている段階)を想定している。制度については関連省庁とも連携の上、3年目の段階では少なくともGRL4「制度のコンセプト化」が達成されていることを目指す。

## ● 社会の寛容性向上策

コミュニティにおいて生きづらさを抱えた人やその家族を含めた住民の寛容性を向上させるまちづくり手法を開発し、一人一人の多様な幸せを最大化する。

## ● 個人の自律性向上策

AI技術を活用し、全世代にわたるライフコースデータを解析することで個人の健康リスクを可視化するとともに、健康リテラシーを向上させ、各ライフステージにおいて自律的に健康行動を促す。

## ● 子育て世代・女性の幸福度向上策

社会全体における子育てへの前向き機運、ボディイメージへの寛容な価値観、女性が生涯にわたって健幸を増進しやすい価値観を醸成させる。

## ● 障がい者・高齢者の生きがい向上策

生きがいの維持・増進に資する在宅ケアの革新、コミュニティへの移動手段の確保、認知機能に合わせた継続的・自律的な経済活動を促進する。